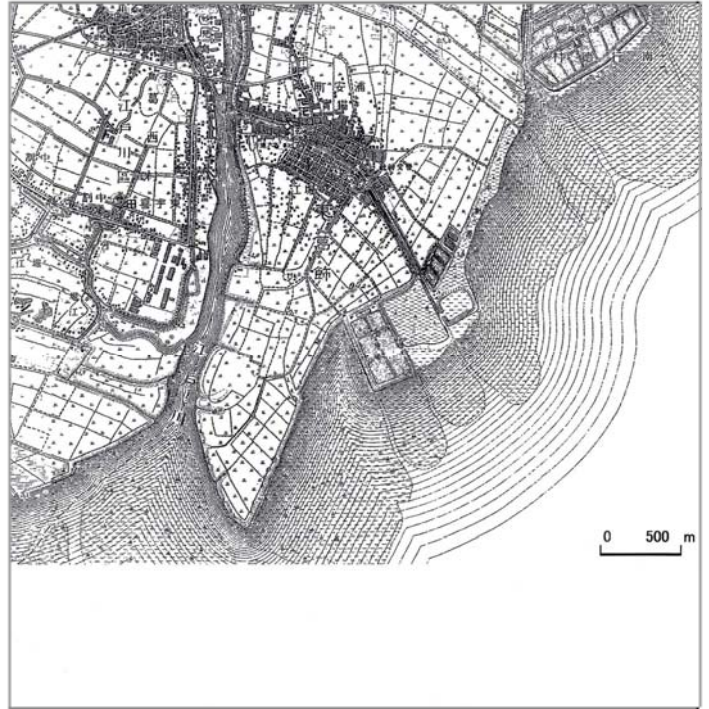
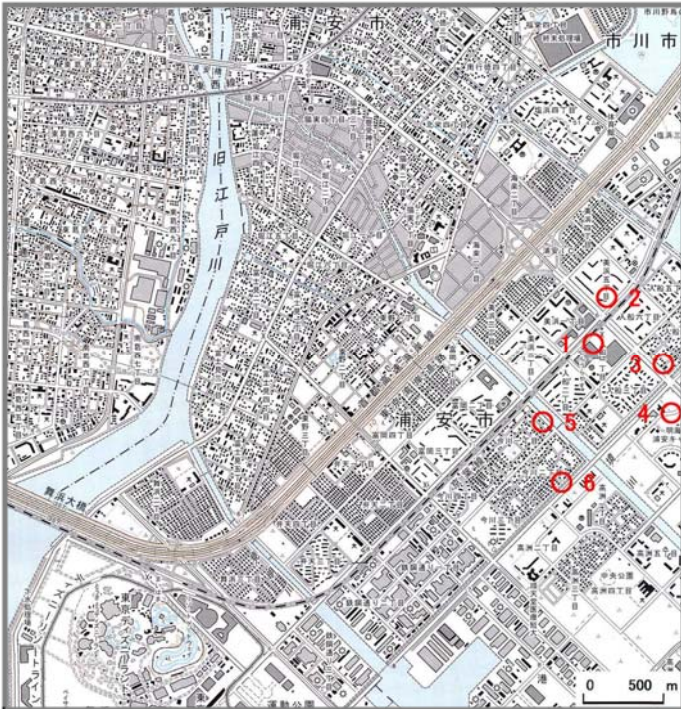


東日本大震災による浦安市埋立地の液状化に伴う被害

千葉県浦安市美浜・入船・有明・今川 2011.3.17, 27 (橋詰直道撮影)



浦安市の 1/2.5 万地形図「浦安」

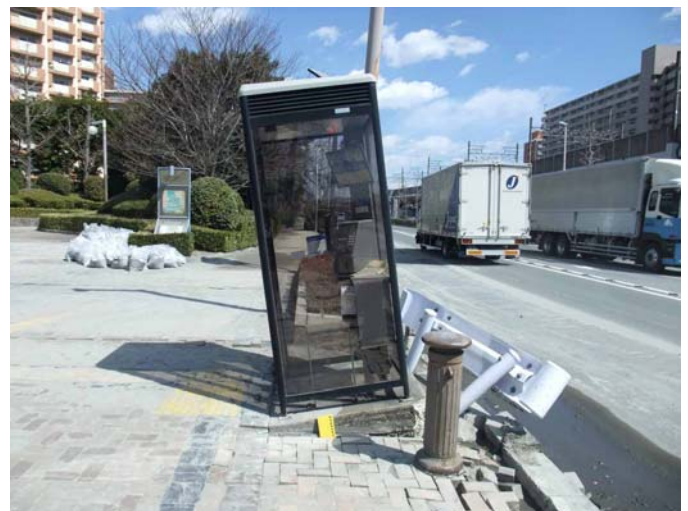
(平成 17 年更新) 国土地理院発行 ○は写真撮影地点

65 年前(埋立てが行われる前)の同地域, 1/2.5 万地形図

「東京南部」「浦安」(昭和 25 年修正) 国土地理院発行



1 JR 新浦安駅前のエレベータ施設の被害
歩道側の地盤の陥没でエレベータ施設が浮き上がった状態に。(黄色は 15cm の野帳) 2011.3.17



2 JR 新浦安駅北口前の電話ボックスの被害
歩道のインターロッキングやガードレールも破損し、電話ボックスも傾いた。2011.3.17



3 浦安市入船4丁目住宅地の電柱と塀の被害
液状化により宅地地盤が沈下したり、塀や電柱も傾く
など広範囲に被害が出た。2011.3.17



4 浦安市明海1丁目歩道に浮上した汚水マス被害
歩道の下に埋設された下水道管が損傷、液状化の際に
浮力でマンホールが道路から飛び出した。2011.3.17



5 境川の護岸脇の歩道の被害
今川1丁目境川右岸歩道のアスファルトは大きく亀裂
が入り、歩道は崩れ沈下した。2011.3.27



6 今川2丁目住宅地の被害
入船と有明、今川と高洲の間には1970年代まで
一時期海岸の防波堤であった構造物(右)が今も残る。
今川地区では住宅の多くが1m近く地盤沈下したり、
大きく傾いたり大きな被害を出した。2011.3.27